

【農林・畜産】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
				対象者	活動可能地域 市内 市外	
12 アウタノ タクオ 粟生田 忠雄 1963	団体職員	1997年 新潟大学農学部教員 現在に至る 2019年 新潟市市民大学「農 と食で地域をプロデュース」コーディ ネーター		●R1 農と食で地域をプロデュース、N POからみた住民と行政の協働		
307 イヅカ カミヲ 石塚 美津夫 1953	農業	昭和28年3月21日生 昭和46年 県立興農館高校卒業専業 昭和46年 旧笹岡農協(現、ささかみ農協)入 協、爾来、営農指導一筋 昭和50年 農水省通信農業大学卒業 昭和56年 首都圏コープ(現、パルシステム)と 交流事業開始 昭和63年 特別栽培米開始 平成 3年 ふるさと創生資金を活用し堆肥セ ンター建設に従事 平成 9年 有機栽培開始 平成14年 大豆加工体験施設(豆腐工場) 建設に従事 平成16年 NPO「食農ネットささかみ」設立 平成18年 オリゲささかみ自然塾・夢の谷 ファーム設立 平成19年末 JAささかみ退職 平成20年 イトミズ神社・エゴマの搾油所を 建設 平成25年 有機農業研究会[sasab]設立 現 在 ・NPO「食農ネットささかみ」顧問	専業で妻と息子夫婦で、水稲・エゴマを 中心に有機栽培を実施。経営面積は水 稲自作地、水稲借入地、畑借入地の計 約10ha。内訳は水稲(うち古代米あり)エ ゴマ、エゴマの輪作で菜種・ライ麦・露地 野菜。他にヤギとニワトリを飼育。うち水稲 有機栽培、特別栽培(化学肥料削減 99%・農薬削減75%)を作付。エゴマ・野菜 も無農薬・無化学肥料栽培で有機を始 めて20余年、生き物がどんどん増えこの 上なく楽しい。販売に関しては、パルシステム (生協)とJAささかみが40年前より産直・交 流事業を開始しており、JA管内のコンシカ リ・我が家のコンシカリもほぼ全量を産直。 近くの消費者と一緒に耕作放棄地を を復活し、即、有機栽培にチャレンジし 年々面積を増やしている。我が家の年間 有機自給率、推定71%。(食材は我が家 から半径1km以内からの調達を心がけ る。)	●R1 にいがた市民大学「農と食で地 域をプロデュース」		
168 イヅカ キンイチ 永塚 均一郎	農業法人(株)果香詩 代表取締役	新潟県連合青年団副団長、中 之口村PTA連絡協議会長、中 之口中学校後援会長、中之口 村議会議員、中之口村監査委 員、新潟市農業農村整備審議 会委員、西蒲区自治協議会副 会長、中之口コミュニティ協議会 副会長	小中高校でPTA活動で会長とし て参画。中之口東小学校120周 年記念式典の実行委員長。中 之口東小学校140周年記念講 演の講師。 農業法人(株)果香詩は農業者 の研修や農場見学、農業体験や 学習、レストランバス等の受入。 新潟市のPR動画(武蔵野美術 大学制作)のロケ地西蒲区自治 協議会の提案事業では、角田の 灯台からのそうめん流し、ポランティ アガイド養成等を実施。	●H30 農業経営における女性の役 割 ●R1 補助事業の活用		
192 イワノ トシ 大岩 年也 1944	農業、新潟県指導農業士 新潟県認定「なりわいの匠」	一、昭和37年農業高校卒、就農 一、減反政策から蕎麦の作付を 始める 一、平成8年から蕎麦打ちを始め る 一、平成15年観光協会主催で 新蕎麦祭りを始める 一、平成20年新潟県「なりわいの 匠」に認定される。各講習会や高 校の蕎麦授業を行う。 一、赤い蕎麦の作付も始める	一、蕎麦について一般的な内容、 栽培等について 一、蕎麦の打ち方についての指導 一、蕎麦のゆで方についての話、 指導	●H29~R2 石川県輪島市門前町 蕎麦祭り、いわむろや 巻観光協会新 蕎麦祭り、巻総合高校蕎麦打ち授 業、中之口・寺泊・西川・巻等公民館 他蕎麦打ち講習会		
76 イワノ ヒロ 大沢 博雄 1953		情報通信産業で40年余従事し た後60歳から広義でいう「林業」 に従事、林業産業の下流部「木 をくらしに生かす」という分野で活 動しています。 「教育・福祉に着目した木の生か し方」をテーマに、子どもたちが木 に触れる木工を通じて、くらしに木 をつかう事の大切さを啓発してい る。	出前木工体験教室をしています。 幼稚園や学校などの教育機関、 公民館などの社会教育機関、科 学館やふるさと村などの公的な建 物の他、イベント会場で木工体験 をしている。	●R2 杉のおはしづくり 間伐材で和 のあかりづくり なんちゃってカメラ 木工 教室 その他いろいろ		
				全て	全市	阿
				小,中,高,青, 成,障,男, 女,親	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
				青,成	全市	三,新,加,燕, 五,阿,胎
				全て	南,西,蒲	燕,
				乳,小,中,障	全市	三,新,五

【農林・畜産】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
				対象者	活動可能地域 市内 市外		
251 オダ ノブオ 小田 信雄 1948 南区	南区 自治協議会会長 新潟市八区会長会議座長 南区 コミュニティ協議会会長会議 会長 小林コミュニティ協議会会長	旧白根市連合青年団長、新潟県連合青年団副団長、白根市教育委員、同教育委員長、JA白根市畜産部長、稲作部長歴任、新潟県指導農業者、白根市農業賞受賞、新潟市立小林小学校学校評議員		●かつて良い生き方、自治と協働のあり方、(三代家が續くこと)高倉健と小林、農業の大切さ、豊かな地域を目指して、一人の犠牲者もたさないために 防災の重要性	小,中,高,青,成,齡	全市	
136 タカトヨウ 高塚 俊郎 1971 秋葉区	農家 新潟県指導農業者、菌ちゃん元気野菜づくりアドバイザー	東京農大を卒業し、東京でのサラリーマンを経験後、妻とともにUターン就農。3児の父。子どもの頃に食べたものの味・感動した体験は、決して忘れない…。という想いで、農業経営をしている。Akiha森のようちえんを運営するNPOアキハロハス理事、菌ちゃん元気野菜づくりを広める、NPOにいがた農えん隊理事長。	菌ちゃん元気野菜づくり、農業の良さを伝える活動	●R1 人生に農のある暮らしを、大学生だった自分へのメッセージ	小,中,高,青,親	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
158 タカハシ トシエ 高橋 敏英 1951 西蒲区	農家 毒物劇物取扱責任者	S49年 巻町農協入組 H24年 越後中央農協退職 この間、主に園芸作物の営農指導と販売を担当 H24年より、アスパラガスとイチジクの栽培を開始 R2よりイチジク専業 イチジク栽培開始希望者に対してJA普及所と共に「イチジク塾」を開催	近くの野菜栽培者や農産物直売所出荷者に対して、質問等があったときアドバイス R2より「イチジク塾」塾長	●R2 JA越後中央 いちじく塾	全て	蒲	
213 フナヒサ ハルヒコ 船久保 栄彦 1983 田上町	農業	スーパーマーケット水産部門勤務を11年経験後、妻と2人で新規就農。現在は農薬不使用栽培に取り組み、野菜や稲を育てている。鶏の平飼い養鶏も行い、循環型農業を目標とする。	無農薬栽培農産物の生産、販売。	●R1 自然栽培の実践と楽しみ	高,青,成,齡	全市	
3 シゲチヒデオ 箕口 秀夫 1959 新潟市	新潟大学・教授 博士(学術)	1984年、新潟大学大学院を修了、新潟県庁入り。主に林業試験場(現:森林研究所)で多雪地帯の森林管理について研究。1996年、新潟大学に移り、現在、自然科学系(農学部)教授。専門は森林学・生態学で、森林生態系における生物間相互作用の解明や積雪地帯における生物多様性を意識した森林管理技術を教育、研究。	生態系における生物間相互作用の仕組みと役割や、積雪地帯における生物多様性を意識した森林管理技術についての研究、その成果に基づく野生生物と共存できる地域のあるべき生態系の復元や森造り、ツキノワグマ、ニホンジカなどの大型哺乳類による森林被害などの人間活動との軋轢の防除について、講演および現地観察会など。	●R1 ツキノワグマの生態ー東蒲での調査からわかってきたことー、ブナ林の成り立ちが野鳥のすみかをつくる！？ ●R2 森林から黙示録ー山の生き物たちは警告するー	全て	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎

【農林・畜産】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域	
					市内	市外
5	農業	1995年より農業をはじめ。有機稲作と平飼養鶏を組み合わせた複合農業に取り組む。2010年より肥料も農業も使わない自然栽培の稲作に取り組む。	自然栽培の米作り、平飼養鶏、自然環境と調和する農業についての実践と講義	●H30 よみがえれ松林！ ●R1 田んぼとお米作りと生きものについて		
ミヤ ヒロミ						
宮尾 浩史						
1964						
北区				小,中,高,青,成	全市	新,阿
223	山崎靴屋株式会社代表取締役	・津川町議会議員 ・45才から世界14か国食について旅した。 ・新潟薬科大との共同研究 ・三つの学会で共同研究発表 ・日本の発酵について講演活動 ・NHKBSワールドにて世界16か国で放映 ・雑誌、TVに取り上げてます。	創業150年余になります。昔からの伝統食は素晴らしいが、現在では熱処理生きた食品はスーパーにはありません。昔はみんな手造りでした。ですから、がん、認知症、アレルギーは少ないです。利益優先の死んだ食品から脱却し、日本の農業の力で医療費削減をし、100才まで元気で！今の100才の方々は、昔づくりの食をしていたのですから。見直そう食を、子や孫のために。	●H28 「親子で行く！阿賀野川流域ほんもの体験ツアー」靴座学 ●H29 驚くべき靴の力 ●H30 「よりよい食生活を目指して」		
ヤマギ キョウコ						
山崎 京子						
1945						
阿賀町				小,中,高,青,成,年齢,男,女,親	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
134		1942年生まれ・元新潟県職員として農業、農村振興の業務に関わり、農産物の生産と市場流通、そして直売活動を通じた消費者との交流などの指導助言を行ってききました。	・野菜の栽培技術やひょうたんの装飾技術は依頼者が用意された会場で解説と実演をいたします。 ・都市と農村の交流は計画の策定や農業・農村体験の実際を助言します。			
ヤマダ タカシ						
山田 正						
1942						
西蒲区				小,成,年齢	南,西,蒲	三,燕,